

令和7年度 1年次生 学びのプラン

教科名	地理歴史	単位数 (コマ数)	2単位 (2コマ)	履修年次	1年次	
科目名	地理総合	履修	必履修(共通)	開講	通年	
教科書	わたしたちの地理総合 世界から日本へ(二宮書店) 新詳高等地図(帝国書院)	副教材	わたしたちの地理総合ワークブック(二宮書店)			
1 学習の目標						
社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。						
2 学習の方法						
①授業 教科書・地図帳・ワークブックを用いて、板書・説明をしながら、多くの発問を取り入れ、知識・定着度を確認しながら進めていきます。						
②授業に必要なもの 教科書・地図帳・ワークブック・クロームブック						
3 評価について						
①評価の観点						
知識・技能	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。					
思考・判断・表現	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。					
主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。					
②評価の方法						
	材料	定期考査	プリント	グループワーク	ワークブック	評価方法
知識・技能		○	○		○	定期考査や提出課題等によってA・B・Cで評価する。 「十分に満足できる」状況と判断されるものをA、「おおむね満足できる」状況と判断されるものをB、「努力を要する」状況と判断されるものをCとする。
思考・判断・表現		○	○	○	○	定期考査や提出課題等によってA・B・Cで評価する。 「十分に満足できる」状況と判断されるものをA、「おおむね満足できる」状況と判断されるものをB、「努力を要する」状況と判断されるものをCとする。
主体的に学習に取り組む態度			○	○		プリントやグループワーク、課題等によってA・B・Cで評価する。 「十分に満足できる」状況と判断されるものをA、「おおむね満足できる」状況と判断されるものをB、「努力を要する」状況と判断されるものをCとする。
4 その他						
授業の進度により年間計画が変更になる場合があります。						

5 単元の目標・評価						
単元名	1章 地図とGISの利用					
単元の目標	位置や分布などに関わる視点に着目して、現代世界の地域構成とともに地図やGISの活用の仕方を多面的・多角的に考察し、表現する力を育成するとともに、現代世界の地域構成の特色、地図やGISの役割や有用性などを理解し、そのために必要な技能を身につけられるようにする。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	グループ学習					
活動内容	授業内容を踏まえ、各自の考えをグループで共有し、知識・技能、思考・判断・表現を問う問題に取り組む。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身につけている。		地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。		地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	
単元名	2章 生活文化の多様性と国際理解					
単元の目標	場所や人間と自然環境との相互依存関係などに関わる視点に着目して、世界の人々の生活文化を多面的・多角的に考察し、表現する力を育成するとともに、世界の人々の生活文化の多様性や変容、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などを理解できるようにする。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	グループ学習					
活動内容	授業内容を踏まえ、各自の考えをグループで共有し、知識・技能、思考・判断・表現を問う問題に取り組む。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。		世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。		生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	
単元名	3章 地球的課題と国際協力					
単元の目標	空間的相互依存作用や地域などに関わる視点に着目して、世界各地で見られる地球的課題を多面的・多角的に考察し、表現する力を育成するとともに、地球的課題の傾向性や課題相互の関連性を大観し、課題解決を目指した各国の取り組みや国際協力の必要性などを理解できるようにする。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	グループ学習					
活動内容	授業内容を踏まえ、各自の考えをグループで共有し、知識・技能、思考・判断・表現を問う問題に取り組む。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解している。		世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結びつきや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。		地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	

単元名	4章 生活圏の諸課題 1節 自然環境と防災					
単元の目標	人間と自然環境との相互依存関係や地域などに関わる視点に着目して、地域性を踏まえた防災を多面的・多角的に考察し、表現する力を育成するとともに、自然環境の特色と防災との関わりや、地域性を踏まえた防災の重要性などを理解し、そのために必要な技能を身につけられるようにする。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	グループ学習					
活動内容	授業内容を踏まえ、各自の考えをグループで共有し、知識・技能、思考・判断・表現を問う問題に取り組む。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	我が国をはじめ世界でみられる自然災害や生徒の生活圏でみられる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。 さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身につけている。		地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。		自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	
単元名	4章 生活圏の諸課題 2節 持続可能な地域づくり					
単元の目標	空間的相互依存作用や地域などに関わる視点に着目して、生活圏の地理的な課題を多面的・多角的に考察し、表現する力を育成するとともに、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などを理解できるようにする。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	グループ学習					
活動内容	授業内容を踏まえ、各自の考えをグループで共有し、知識・技能、思考・判断・表現を問う問題に取り組む。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解している。		生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結びつき、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現している。		生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	

6		年間計画				
学期	月	単元	項目	予定時数	考查	
前期	4	1章 地図とGISの活用	1節 球面上の世界	・球面での生活 ・世界地図でとらえる地球	12	前期中間 考查
	5	2章 生活文化の多様性と 国際理解	2節 国家の領域と領土問題	・国家の領域と海洋の役割 ・日本の位置と領土問題		
			3節 国内や国家間の結びつき	・国家、観光、交通・通信、貿易・ 物流による結びつき		
			4節 日常生活のさまざまな地図	・さまざまな地図 ・GISのしくみと使い方		
	6	2章 生活文化の多様性と 国際理解	1節 自然環境と生活文化	・地形のなりたち ・山地、平野、海岸部の生活	17	前期期末 考查
			2節 産業の発展と生活文化	・気候のなりたち ・気候に対応した生活		
				・農業の地域性、生活文化 ・工業の地域性、経済成長や工 業化による生活の変化		
				3節 言語・宗教と生活文化		
			9	4節 グローバル化の進展と生活文 化		
・地域統合による生活文化の変 化 ・グローバル化による成長と課題						
後期	10	3章 地球的課題と国際協 力	1節 人口・食料問題	・世界の人口問題 ・人口の増加した国や停滞する 国の課題 ・世界の食料問題 ・人口増加と食料問題	16	後期末 考查
	11	2節 居住・都市問題	・世界の居住・都市問題 ・大都市の地域性と課題 ・人口が密集する都市の課題			
			3節 資源・エネルギー問題	・世界の資源・エネルギー ・エネルギー資源の生産・消費と 課題 ・鉱産資源の産出と消費		
	12	4節 地球環境問題	・地球温暖化の現状と将来 ・熱帯林の減少 ・砂漠化の進行	5		
	1	4章 生活圏の諸課題	1節 自然環境と防災			・日本の地形・気候と生活 ・風水害、火山の噴火、地震・津 波、都市型災害と防災 ・防災、減災への心構え
2	2節 持続可能な地域づくり		・地域調査			
3						